

令和2年 伊豆市議会



議会報告

昨年の議会報告会が出た意見から、
行政に反映された事業の紹介を致します。

令和2年度

伊豆市予算編成に関する要望の回答

(一部抜粋)

移住定住

- 若者定住促進補助金について

定住に繋がった場合、最も効果的である若者世帯に焦点を絞っているため、現状では年齢制限は廃止せず、現行制度を維持していく。

- 空き家バンクについて

移住希望者に提供できる空き家を確保するため、空き家バンクへの登録希望物件の家財処分等に要する費用の一部を補助する制度を創設し、空き家バンクの登録及び取引の促進を図る。

子育て（1）

- 給食費の保護者負担の軽減について

給食費については、令和元年10月から「幼児教育・保育の保育料の無償化」が実施された際、保護者負担を徴すこととなったが、実態として負担額以上の食材費がかかっていることから、私立こども園・保育園に対しての市単独の補助金を創設することで、間接的に保護者負担の軽減を図っていく。

子育て（2）

- 遊具を配置した児童公園の整備について

今年度、防災機能を備えた公園整備について調査・検討しているところだが、平常時には子育て世代が気軽に利用できる公園として、遊具も配置した整備を計画する。

教育

- 奨学金の導入について

中小企業等に勤務しながら奨学金を返還する従業員の経済的負担を軽減するため、従業員の奨学金の返還を支援する中小企業等に対して、負担額の一部を補助する補助制度を創設する。

結婚奨励

- 出会いの機会の創出について

人口減少の緩和につなげるため、結婚を望む市民に多様な出会いの機会を創出する事業を実施する団体等を対象として、新たな補助制度を創設する。

地域交通

- 駿河湾フェリーの利用促進について

市民の利用促進を図るため、土肥港フェリーターミナルに隣接する浄化センター敷地内にパークアンドライドを目的とした駐車場整備を行うとともに、市内事業者を対象とした駿河湾フェリー利用に対する補助金制度を創設する。

防災

- 防災緊急ヘリポートの整備について
これから事業を進めていく防災公園の整備と併せて検討する。
- 市内の河川の土砂浚渫について
国及び県が積極的に実施している。台風15, 19号により市管理の河川も土砂の堆積が見られるため、計画的に浚渫を実施していく。

観光（１）

- 従業員確保について

観光業だけでなくすべての産業を通じた課題であるとの認識のもと、商工会とも連携し「外国人就労者の受入」について検討していく。

- トイレのバリアフリー化・美化推進について

観光客へのおもてなしとして欠かすことのできないものであることから、主な観光拠点の洋式化の改修及び新築工事を行っている。今後、多目的トイレやオストメイトなど、トイレの利便性の向上や美化推進を行っていく。

観光（２）

- 海岸を生かした観光施策について

海岸からの眺望を含めた遊歩道の活用や土肥桜をコンテンツとした誘客商品の造成など、伊豆市産業振興協議会と連携を図り観光施策を推進していく。

森林整備

- 森林施業施策について

令和元年度より森林環境譲与税交付金の交付が開始され、森林施業に対する財源が充実したことでよりきめ細やかな施策対応が可能となった。

令和2年度より森林経営管理制度を活用した森林調査及び施業についても着手していき私有林の整備を行うとともに、市有林についても従来の補助制度を活用しながら森林整備を推進していく。

生活環境

- 地域間を結ぶ道路の整備について

地域間を結ぶ道路である市道矢熊筏場線について、継続的・計画的な改良工事を行っていくことで緊急車両の通行や災害時の迂回路としての機能を持たせる。

医療・福祉・介護の充実

●診療所・病院の充実について

平成30年度から令和2年度までの3ヶ年でMRI装置の整備費に対して助成を行う「二次救急病院設備整備費補助金」や、令和2年度は電子内視鏡システムの整備費に対して助成を行う「病院群輪番制病院設備整備費補助金」など、病院設備の充実に繋がる事業を実施する。

また、地域医療の確保のための事業である「公的病院移転新築事業費補助金」について、関係団体との協議が整い次第補正予算にて計上する予定。



最後までご覧いただきありがとうございました

令和2年 伊豆市議会
議会報告会実行委員会